

年金者 しんぶん

全日本年金者組合
神奈川県本部
〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル
TEL:045-663-4061 FAX:045-663-4062
メール:nenkinkanagawa@nifty.com

10月28日現勢 組合員 10,552人
機関紙 6,475部
20万請願署名 15,180筆

安倍首相につきつけた15万5200の直訴状 いま組合に入ってもらおう絶好のチャンス

年金者一揆

神奈川県1万2000筆集める 趣向こらしし504人銀座デモ



小田原地方、南足柄、大井町支部の仲間たち

安倍首相への直訴の目標、20万筆を大きく突破する勢いです。神奈川県も12月中旬までの期間を待たずに2万筆の目標を達成するテンポです。秋の「年金者一揆」全国100カ所に1万人が参加。首都圏では10月17日、東京・日比谷野音に3000人が集まり、第一次分の直訴15万5200筆を総理府と厚生労働省に突きつけました。



川崎麻生支部の仲間たち



茅ヶ崎支部の仲間たち



旭支部の仲間たち

愛川年金者の会は9月29日(月)小野沢豊町長と懇談しました。この懇談には町側から靴のまま入館OK

愛川年金者の会 町と懇談

幹事部 町長「組合の協力得たい」

町長、民生部長、国保医療課長、教育次長、生涯教育課長の5人、会から



小野沢町長に要請書を渡す勝又会長

意接種の二本立てで実施する。②は外履き入館を10月から試行する。と

の返答がありました。③は会の方から、年金削減が大変苦労している。町長として反対の態度を表明してほしい旨要請しました。町長から最後に「皆さんの協力も得ながら町民が安心・安全できる町となるよう全力を尽くします」との表明がありました。(野尻 治)

緑、都筑、横浜西、金沢、麻生、座間、秦野、相模原、大井町が達成
「年金下げるな」 井町の9支部が超過して達成しています。そのほかの支部ももう少しで達成する勢いです。

小田原地方支部 あつちでこつちで9人加入 「審査請求」訪ね歩く



5人も増やした前田裕幸さん

秋の仲間増やし運動を共鳴し、支部役員を受けてくれた。
☆前田裕幸さん(66男)は、とにかく申請用紙を軒並み渡した。その後回収に力を入れ、年金者組合の活動を紹介します。「それなら入会する」と5人(駅頭宣言での1人含)が増えた。漏れなく訪ねた成果だと、松原末次さん(66男)は、一杯会などで支部の運動

浮かばなかつたが、年金者しんぶんを入れていく。アパートに、読者の知人がいたので声掛け1人
☆田代すみ子さん(入会1年80女)は、みんなの話を聞いて知人を誘ってみた1人
☆高山正義さん(湯河原75男)は、隣組の人にも用紙を配った。再審査には応じない人もいたが、回収に尋ねた折意外な人に「書いてありますよ」と言われ、見たら入会申込書だった1人
(宮沢幸太郎)

新しい発想が芽生えた高津支部

高津支部では、昨年の定期大会で若い執行委員が増えて変化が出てきた。その一つは、行事になかなか参加できない組合員との絆を切らさないようにとの思いから、年賀状や誕生日カードを組合員に送り始めた。誕生カードには、誕生月の花の写真を花ことばと一言メッセージを書いた。カードを受け取った会員からは「嬉しかった、感動した」という声が多く寄せられてきた。また、7月に初めて作品展を高津市民ギャラリーで

48点を展示。500人余の方に見て頂くことができました。この作品展では2人の方が組合に加入しました。また、340人が参加した川崎7支部合同の「かわさき年金者まつり」には、高津支部から68人、実に組合員の48%という驚異的な参加者を得ました。この「まつり」でも、3人の方が高津支部に加入してくれました。2人は「まつり」を知らずに訪れて年金相談に立ち寄った方でした。(大沢直人)

さわやか女性だより No.46

総会と 20周年記念のつどい

日にち: 2014年11月28日(金)
時間: 第11回総会 → 10時30分~12時
記念のつどい → 13時30分~16時
場所: 県民共済みらいホール (桜木町:地図別紙)

第11回 総会 活動報告と今後の方針 10時30分~12時

***** 食事休憩 *****

20周年記念のつどい (資料代:500円) 13時30分~16時

☆記念講演 伊藤 千尋氏 (ジャーナリスト)

憲法を活かして豊かな生活を
一ほんとうの「積極的平和」とは?—



☆心をうたう 佐藤 真子さん

みんなで歌おう!



☆伊藤千尋さん(写真上)☆
ジャーナリスト、元朝日新聞記者。
世界70数か国取材し、そこに生きる人々のこと、
憲法のこと、自然エネルギーのことなど、さまざま
な問題を明快に語られます。一昨年の総会でも
講演をお願いし、もう一度お話をとの声が少なく
ありませんので、再度お願いしました。

☆佐藤真子さん(写真右)☆
1986年平塚らいてう生涯百年祭にて「元始、女
性は太陽であった」を初演。「反核・日本の音楽
家たち」の新人オーディション合格。
「心をうたう」や「平和への想い」をタイトルに
各地でコンサート活動をつけておられます。

お願い事項

資料代・交通費などの受渡しは会場では
できませんので、受付では記載だけ
していただき、後日精算いたします。
*交通費: 県役員・幹事+2人分は
県負担
*昼食: 会場では食べられません。
外食をお願いします。
(食事場所は別途 ご案内いたします)

出番です!! 女性の会



高橋千鶴子さんのお話

横浜で第5回全国女性代表者会議開く

全都道府県から1115人参加

9月25~26日の両日、
横浜市従会館で、全国47
都道府県から1115人が
参加して行われました。
講演は「どうなる?年

金制度 医療・介護・年
金の改善、安倍暴走政
治にNOを」と、講師は衆
議議員 高橋千鶴子さん。
と「情勢は年金者組合、
女性の会の出番、力を発
揮して歴史的使命を果た
し、全支部に女性の会
を」と、講師 中央委員三
上俊栄さん。

高橋さんの講演には
講演は「どうなる?年

支部だより

「貧弱ね」日本の年金

学びながら第7回総会

港北支部

10月7日(火)1時半
より港北公会堂会議室に
て、女性の会第7回総
会・学習会を開催しまし
た。写真左下。33人の参
加で、第1部は県本部副
委員長の村田泰子さんの
「私の年金これからどう
なるの?」の学
習会でした。国
連社会権規約委
員会から日本の
無年金、低年金
の高齢者の間で
の貧困の発生に
懸念が示され、
最低保障年金を

「わかりやすく、国会内
の事がよくわかった。」
「講演はタイムリングのよ
い講師と内容だった」と
好評でした。
分散会はこの県本部の
運動がわかりよかったです。
などいづれも好評でした。
県の女性の会は準備段
階から実行委員に役員を
送り出し、全国からの仲
導人するよう再三勧告を
受けているということ。
世界100カ国以上で保
険料によらない年金が存
在しているなどの説明に、
いかに日本の年金制度が
貧弱かを痛感しました。
第2部は総会で13年度
の経過報告、14年度の活
動方針、世話人の選出が
行われ、拍手で承認さ
れました。

成功に終わることが出来
う、頑張りました。無事
ましたと中央本部から感
謝のお礼が来ました。



間を温かく迎えられるよ
う、頑張りました。無事
ましたと中央本部から感
謝のお礼が来ました。

楽しいこと、学ぶこと
積極的にやりましょう

藤沢支部

藤沢支部は男性より女
性組合員の方が相当多い
ので、支部の役員も女性
が多いとのこと。従って、
支部全体で取り組む親睦
会でも女性が過半数だつ
たり、おしゃべり会や小
物作りのサークルが誕生
するなど、女性が支部活
動に深くかかわっている
ことが感じられました。
討論の場では、「楽しい
ことだけをやるのではな
く、今の厳しい時代を知
るために、積極的に学習
していこう」「女性の会
の役員を増やしてはどうか」
「要求は言い続ける
ことが大事」などの意見
が出ていました。懇談の
場では、介護の現状が話
題になり、厳しい現実が
浮き彫りになるなど、有
意義な総会という印象で
した。(鈴木俊子)



藤沢支部女性の会総会



共同墓所 秋の墓前祭
6人納骨、280人が参列

恒例になった「ねんき
んながわ共同墓所」の
墓前祭が10月24日行われ
ました。写真。
秋晴れの清々しい中、
280人の参列者を得て、
6人の仲間の納骨をしま
した。
墓所は葉山の明るい丘

にあり、広々として南国
を思わせます。
このようなお墓に家族
を送った方、これからそ
こで長く過ごすことにな
る人に感動と安堵を与え
ました。
懇親会では多くの仲間
とともに故人をしのび、
最後に参加者全員で手を
つないで「青い山脈」を
歌い、再会を期し分か
れました。

安心して明るく働きたい

2014はたらく女性の県集会

10月14日、2014年はた
らく女性の神奈川県集
催されました。記念講演
の広
らと批判しました。
3つの分散会は「働くた
めの基礎知識」「安心して働
くための」「日本中がブラック

労働法制の規則と抱き合わせ
にした企業に利するものであ
る。
3つの分散会は「働くた
めの基礎知識」「安心して働
くための」「日本中がブラック

企業?」にわかれ過酷な実
態、それらの戦いを交流しま
した。
困難な中でも力を合わせ励
まし合う明るくたたくはた
らく女性の集会となりました。
年金女性の会はバザーへの
出店と「年金とくらしを守れ
る」の署名を集めました。



はたらく女性の会神奈川県集会



題字 茅ヶ崎支部 藤田香代子 ▶6◀

江戸時代から七湯の一つに数えられていま

川底に湧く白い湯の倉

「底倉温泉」

した。明治期には、外人が宮ノ下を好むの

まれる温泉として栄えました。岩の割れ目から高温の弱食塩泉と純温泉が湧出していて、

今



昔



歴史をさらにさかのぼれば戦国時代、豊臣秀吉が小田原攻めの時に蛇骨の川

いも煮会

厚木支部

山形産の里芋、コンニャク

ものすごい強力な台風が予想外の低速で、沖縄・九州南部で停滞していたために、諦めかけていた10月12日「いも煮会」を実行することがで



ものすごく楽しかった「いも煮会」

カラス天狗の最乗寺

会員ガイド、歴史探訪



南足柄年金者の会では気持ちのいい秋晴れのもと9月26日(金)歴史探訪会大雄山・最乗寺・アサヒビール工場見学

介護をする仲間を訪ねて

今回訪問した光井節子さんは、アルツハイマー型認知症のご主人を介護する75歳の方です。

喘息の持病もあって太陽の光がいつぱい差し込む暖かなマンションでしたが、すぐ裏は交通量が多い道路があり、排ガスがと

自家用車に分乗し、10分で地元にある名古利・大雄山・最乗寺を訪ね、会員のボランティアガイドさんに案内してもらいました。



光井節子さん

光さん。今では他人の趣味のとても元気な方になった更地です。その

マ姿で徘徊したこともあり、夜間に出て行かれてはと玄関に近いソファで寝ることも度々。

喘息の持病かかえて介護

そんな敏光さんは介護度3、節子さんは要支援2です。現在は月曜から金曜まで朝9時から夕方5時までデイケアに行けるようになり、その時間は自分の病院、買い物などに使っているようですが、誰とも話さない日が続き、それが苦痛になってくる現実もあります。

半年も準備、これまでに最高川崎ねんきん者まつり



オープニングの六年生バンドを聞く

第21回かわさき年金者まつりは10月12日、川崎市民プラザで行われ、330人という今までの最高の参加となりました。

年金者組合 囲碁愛好者 宿泊交流会

●日程 11月30日(日)～12月1日(月)

○定員 50名

●費用 13,000円

○申込 TEL663-4061

●締切 11月10日(月)

●会場 ホテルマホロバ マインズ三浦

ひらき討議を重ねた結果ではないかと考えています。会場には年金相談コーナーもつくり、ここに相談にきた方も含め、まつりで3人の方が入会されたのは大きな成果といえます。これを契機に仲間増やしに勢いがつけばと願っています。



にこやかに話される田中覚子さん(自宅にて)



▶13◀

慰安婦の検診に係わった看護婦(当時)さんがおられると聞き、是非お話しを伺いたいと思いましたが、今は郡山に移住されお会いすることができませんでしたが、その看護婦さん中里チヨさんが書かれた原稿を田中覚子さんが預かっていることがわかり、早速泉区のお宅に伺いました。「どうして中里さんの原稿を預かっておられるの?」私がナース・アイ(1995年

満鉄病院の元看護婦

泉年金者の会 田中覚子さん(86歳)

発行)という雑誌の編集委員

大和なでしことして 恥ずかしくくない...渡された小瓶



満鉄時代の田中さん

をしていて、記事を依頼したのよ」
早速みせていただきました。

慰安婦の悲しい叫び

「日赤」の元看護婦・中里チヨさんは、中国海南島・三

渡された茶色の小瓶

田中さんも元、満鉄病院の看護婦さんでした。終戦の日、院長室に集ま

り直して田中さんのお話を伺いました。

は文字に出来ないことが多いことを知り、二度とこのようなこととおこしてはならないと強く感じたと、結んでありました。「彼女たちは人間ではなく『物』扱いなんだ...」。気を取

院(日本人病院)の看護婦になりました。結婚している人などは下関に帰れましたが、院長から「菊池(旧姓)は元氣だ、ホツとするから残れ」と指名され、入院患者の看病をしました。宿舎は青年隊舎がくるようになり、若い女性たちが引つ張られていき、帰ってきたらアザだらけ。いつ

自分が引つ張られるか、不安な日々でした。その内先輩から「女性が一人でいるのはあぶない、結婚しなさい」「菊池は田中が好きなんだろ」と、当時院長の助手をして

いた田中正行さんを勧められ、同じように先輩から結婚をすすめられた友人との二組の合同結婚式をしました。(1947年)

民運と共に

1953年子ども2人を連れ日本に帰国。朝倉病院の婦長をしていたお姉さんから潮田診療所に呼ばれ、二人で民医連発足時から働きはじめました。ご主人の正行さんは、聴講生として東大に通い医師の資格を取得。診療所の運営も大変で、2人の子供は2年間親戚に預けての忙しい日々でした。

合同結婚式

このあとチチハルの民生病

神奈川 年金者文芸

(俳句)

黄落葉かけあいこの声に染む

横浜緑支部 吉田 一夫

棕鳥はかしこく狙う美味い柿

川崎みなみ支部 鏡 寿一

羊腸の小道先祖の墓参り

秦野支部 松本 サト

松原に姿見えし夏の富士

秦野支部 町田美智子

子燕や親見守りて初飛行

秦野支部 松村 暁一

一粒の雨を憂うる夏となり

秦野支部 平野雄一郎

街路樹の根方を占めて彼岸花

平塚支部 木下 裕治

秋出水腰の高さの泥の跡

平塚支部 坪井 絵恭

戦争の記憶の端に蝉しぐれ

逗葉支部 長谷川紀美子

友訪へば木犀の香の零れをり

逗葉支部 熊谷 直子

雲美し釣瓶落しに染りあて

逗葉支部 根岸こうこ

晴れわたる空にこぼれし萩の花

磯子支部 公 佳

母見舞い車窓を駆ける彼岸花

磯子支部 きくみ



寒川支部 N. 信子



寒川支部 鈴木 康乃

萩咲くや遺品の人形捨てがたく
相模原南支部 大津 好子
へたりこむ妻支え得ず秋深む
磯子支部 満 喜男

(川柳)

御獄の次は富士かと気が採める
愛川支部 田辺 弘己
三本矢的を外れて円安に
愛川支部 村井 庄三

我が家にも秋運び来る生さんま
愛川支部 青井 功
水たまり親は避けれど子は中へ
愛川支部 衛藤 佳功

アベノミクスお金はボクを避けて行き
旭支部 毛利やすひこ